



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月7日

上場会社名 株式会社 富山銀行 上場取引所 東  
 コード番号 8365 URL <https://www.toyamabank.co.jp/>  
 代表者(役職名) 取締役頭取 (氏名) 中沖 雄  
 問合せ先責任者(役職名) 総合企画部長 (氏名) 中嶋 尚大 TEL 0766-21-3535  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

## 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2025年3月期第3四半期	7,353	△7.3	847	△15.5	588	△25.2
2024年3月期第3四半期	7,934	△9.9	1,002	△34.9	787	△18.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △1,470百万円( —％) 2024年3月期第3四半期 461百万円( —％)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	108.89	—
2024年3月期第3四半期	145.39	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2025年3月期第3四半期	560,505	29,391	5.0
2024年3月期	552,196	31,303	5.5

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 28,498百万円 2024年3月期 30,426百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計-期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2025年3月期	—	25.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	900	14.2	700	10.7	129.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	5,444,400株	2024年3月期	5,444,400株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	131,521株	2024年3月期	23,711株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	5,404,384株	2024年3月期3Q	5,417,868株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【添付資料の目次】

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2 頁
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. 2025年3月期 第3四半期決算短信 説明資料	
(1) 2025年3月期 第3四半期 損益の状況(単体)	8
(2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示(単体)	9
(3) 自己資本比率(国内基準)	9
(4) 時価のある有価証券の評価差額(単体)	10
(5) デリバティブ取引(単体)	10
(6) 預金・貸出金等の残高(単体)	11

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期(2024年4月1日~2024年12月31日)の連結経営成績については、経常収益は、有価証券売却益が減少したこと等から、前年同期比581百万円減少して7,353百万円となりました。一方、経常費用は、与信費用が減少したこと等から、前年同期比425百万円減少して6,506百万円となりました。この結果、経常利益は前年同期比155百万円減少して847百万円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比199百万円減少して588百万円となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の連結財政状態については、預金は引続き地域に密着した営業基盤の拡充に努め、個人預金及び法人預金が増加したこと等から、前連結会計年度末比15,034百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末残高は513,713百万円となりました。貸出金は、中小企業等貸出金が増加したこと等から、前連結会計年度末比6,805百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末残高は386,052百万円となりました。有価証券は、金利リスクに配慮するとともに安定収益と流動性確保を目的に資金の効率的な運用に努めた結果、前連結会計年度末比572百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末残高は128,567百万円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

2025年3月期の連結業績予想については、2024年5月10日に公表した数値から変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	33,312	34,126
買入金銭債権	—	499
有価証券	127,995	128,567
貸出金	379,247	386,052
外国為替	599	267
リース債権及びリース投資資産	4,058	4,159
その他資産	1,471	1,363
有形固定資産	8,532	8,389
無形固定資産	360	353
退職給付に係る資産	869	896
繰延税金資産	31	801
支払承諾見返	1,284	1,300
貸倒引当金	△5,565	△6,270
資産の部合計	552,196	560,505
<b>負債の部</b>		
預金	498,679	513,713
コールマネー及び売渡手形	11,700	11,700
借入金	6,573	1,389
その他負債	1,383	1,946
賞与引当金	117	—
退職給付に係る負債	472	469
役員退職慰労引当金	3	4
睡眠預金払戻損失引当金	10	7
偶発損失引当金	106	93
繰延税金負債	72	—
再評価に係る繰延税金負債	488	488
支払承諾	1,284	1,300
負債の部合計	520,892	531,114
<b>純資産の部</b>		
資本金	6,730	6,730
資本剰余金	6,244	6,244
利益剰余金	13,922	14,235
自己株式	△56	△220
株主資本合計	26,841	26,990
その他有価証券評価差額金	2,358	335
土地再評価差額金	1,031	1,031
退職給付に係る調整累計額	194	140
その他の包括利益累計額合計	3,585	1,508
非支配株主持分	877	892
純資産の部合計	31,303	29,391
負債及び純資産の部合計	552,196	560,505

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
経常収益	7,934	7,353
資金運用収益	3,931	4,235
(うち貸出金利息)	2,605	2,727
(うち有価証券利息配当金)	1,275	1,440
役務取引等収益	1,010	1,025
その他業務収益	1,210	1,219
その他経常収益	1,782	872
経常費用	6,932	6,506
資金調達費用	20	186
(うち預金利息)	19	166
役務取引等費用	258	266
その他業務費用	1,484	1,216
営業経費	3,899	4,022
その他経常費用	1,268	814
経常利益	1,002	847
特別利益	—	1
固定資産処分益	—	1
特別損失	2	0
固定資産処分損	2	0
税金等調整前四半期純利益	1,000	848
法人税、住民税及び事業税	48	200
法人税等調整額	149	42
法人税等合計	198	242
四半期純利益	801	606
非支配株主に帰属する四半期純利益	13	17
親会社株主に帰属する四半期純利益	787	588

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	801	606
その他の包括利益	△340	△2,077
その他有価証券評価差額金	△332	△2,023
退職給付に係る調整額	△7	△53
四半期包括利益	461	△1,470
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	442	△1,488
非支配株主に係る四半期包括利益	18	17

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する 経常収益	6,705	1,211	7,916	30	7,947	△12	7,934
セグメント間の内部 経常収益	11	5	16	7	23	△23	—
計	6,716	1,216	7,933	38	7,971	△36	7,934
セグメント利益	961	15	977	26	1,003	△0	1,002

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、保証業務であります。

3 外部顧客に対する経常収益の調整額△12百万円は「リース業」及び「その他」の貸倒引当金繰入額であります。

4 セグメント利益の調整額△0百万円には、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

5 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	6,114	1,227	7,342	25	7,367	△14	7,353
セグメント間の内部経常収益	13	12	25	7	33	△33	—
計	6,127	1,239	7,367	33	7,400	△47	7,353
セグメント利益	792	34	826	21	848	△0	847

(注) 1 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、保証業務であります。

3 外部顧客に対する経常収益の調整額△14百万円は「リース業」及び「その他」の貸倒引当金繰入額であります。

4 セグメント利益の調整額△0百万円には、セグメント間取引消去△0百万円が含まれております。

5 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	356百万円	372百万円
のれんの償却額	一百万円	一百万円

## 3. 2025年3月期 第3四半期決算短信 説明資料

## (1) 2025年3月期第3四半期 損益の状況(単体)

- コア業務純益は、資金利益が増加した一方、経費の増加から、前年同期比45百万円減少し、780百万円となりました。  
 ○経常利益は、有価証券関係損益の減少を主因に、前年同期比169百万円減少し、792百万円となりました。  
 ○四半期純利益は、前年同期比201百万円減少し、566百万円となりました。

(単位：百万円)

		2025年3月期 第3四半期 (A) (9ヵ月間)		2024年3月期 第3四半期 (B) (9ヵ月間)	2025年3月期 通期公表値 (12ヵ月間)	
			前年同期比 (A) - (B)			
経常収益	1	6,127	△ 589	6,716		
業務粗利益	2	4,692	409	4,283		
資金利益	3	4,064	140	3,923		
役務取引等利益	4	732	5	727		
その他業務利益	5	△ 104	263	△ 367		
うち国債等債券損益(5勘定戻)①	6	△ 110	266	△ 377		
経費(除く臨時処理分)	7	4,022	187	3,834		
業務純益(一般貸倒引当金繰入前) ②	8	669	221	448		
コア業務純益 ②-①	9	780	△ 45	826		
コア業務純益(除く投信解約損益)	10	649	△ 116	765		
一般貸倒引当金繰入額③	11	△ 55	△ 152	97		
業務純益	12	725	374	351		
臨時損益	13	66	△ 543	610		
うち不良債権処理額④	14	776	△ 251	1,027		
うち貸倒引当金戻入益⑤	15	—	—	—		
(貸倒償却引当費用③+④-⑤)	16	720	△ 404	1,125		
うち株式等関係損益	17	473	△ 995	1,468		
経常利益	18	792	△ 169	961		850
特別損益	19	△ 1	0	△ 2		
税引前四半期純利益	20	790	△ 169	959		
法人税、住民税及び事業税	21	183	138	44		
法人税等調整額	22	39	△ 106	145		
法人税等合計	23	223	32	190		
四半期純利益	24	566	△ 201	768		

(注) コア業務純益は、「業務純益」-「国債等債券損益(5勘定戻)」+「一般貸倒引当金繰入額」です。

## (2) 金融再生法ベースのカテゴリーによる開示(単体)

○金融再生法ベースの開示債権は前年同期末比101百万円増加し、11,110百万円となり、総与信残高に占める比率は2.81%となりました。

	(単位:百万円)		(参考)(単位:百万円)
	2024年12月末	2023年12月末	2024年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,410	5,110	4,721
危険債権	4,411	4,787	4,583
要管理債権	1,288	1,111	1,080
合 計	11,110	11,009	10,386
総与信残高に占める割合	2.81%	2.81%	2.67%

(注) 上記の2024年12月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

また、各開示区分の計数は2024年12月末時点での当行の定める自己査定基準に基づく債務者区分を基に集計しております。

なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」と認められる金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額しております。

※債務者区分との関係：破産更生債権及びこれらに準ずる債権(実質破綻先、破綻先の債権)

危険債権(破綻懸念先の債権)

要管理債権(要注意先のうち、利払いが三月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

## (3) 自己資本比率(国内基準)

○2024年12月末の連結自己資本比率は8.22%となりました。

	2024年12月末	(参考) 2024年9月末
連結自己資本比率	8.22%	8.38%

## (4) 時価のある有価証券の評価差額(単体)

○時価のある有価証券の評価差額は前年同期末比1,704百万円減少し、417百万円の評価益となりました。

## ○評価差額

	(単位：百万円)				(参考) (単位：百万円)							
	2024年12月末				2023年12月末				2024年9月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損
その他有価証券	125,117	417	6,739	6,321	122,023	2,122	6,541	4,419	126,078	1,645	6,735	5,089
株式	11,765	5,131	5,333	202	10,828	4,638	4,841	202	11,658	4,950	5,160	210
債券	80,872	△ 2,074	264	2,338	78,017	△ 949	522	1,471	80,919	△ 1,395	383	1,778
その他	32,479	△ 2,640	1,141	3,781	33,176	△ 1,567	1,176	2,744	33,500	△ 1,908	1,191	3,100

- (注) 1. 各四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、それぞれ各四半期末時点の帳簿価額(償却原価適用後、減損処理後)と時価との差額を計上しております。
2. 満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。なお、子会社・関連会社株式で時価のあるものは該当ありません。

	(単位：百万円)				(参考) (単位：百万円)							
	2024年12月末				2023年12月末				2024年9月末			
	帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損		うち益	うち損
満期保有目的の債券	76	△ 0	—	0	92	△ 0	—	0	81	△ 0	—	0

## (5) デリバティブ取引(単体)

①金利関連取引 該当ありません。

②通貨関連取引

区分	種類	(単位：百万円)						(参考) (単位：百万円)		
		2024年12月末			2023年12月末			2024年9月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
金融商品取引所	通貨先物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	通貨スワップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
店頭	為替予約	19	0	0	75	△ 0	△ 0	129	1	1
	通貨オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

③株式関連取引 該当ありません。

④債券関連取引 該当ありません。

⑤商品関連取引 該当ありません。

⑥クレジットデリバティブ取引 該当ありません。

## (6) 預金・貸出金等の残高(単体)

- 預金は、法人預金が増加したことから、前年同期末比1,565百万円増加し、514,370百万円となりました。  
 ○貸出金は、中小企業等貸出金が増加したことから、前年同期末比4,767百万円増加し、387,434百万円となりました。  
 ○預かり資産は、投資信託が20,627百万円(前年同期末比4,960百万円増加)、国債が221百万円(前年同期末比21百万円減少)となりました。

## ①預金・貸出金の残高

		(単位：百万円)		(参考)	(単位：百万円)
		2024年12月末	2023年12月末	2024年9月末	
預	金	514,370	512,804	510,412	
	うち個人預金	372,048	372,050	370,903	
貸	出金	387,434	382,667	379,545	
	うち個人ローン	45,213	44,146	45,100	

## ②預かり資産残高

		(単位：百万円)		(参考)	(単位：百万円)
		2024年12月末	2023年12月末	2024年9月末	
投	資	20,627	15,666	19,347	
国	債	221	242	227	